

## 指定管理者に対する点検総括表

(点検対象期間：令和 4 年 4 月 1 日 から令和 5 年 3 月 31 日)

施設名	南三陸町ひころの里
指定管理者	ひころの里コンソーシアム
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
所管する所属	農林水産課 農林業振興係

### 所管する所属の所見

#### 公平性、安定性、安全性に対する所見

(管理運営、公平確保、職員の配置、施設維持管理、修繕、備品管理、安全管理、個人情報の管理、情報提供、会計管理状況について総合的に記述。)

仕様書・事業計画書に基づき、全般を通じて安定的かつ適正な水準で管理運営がなされている。施設貸出もルールに基づき適切に処理されている。  
施設の維持管理についても、10万円以下の修繕については指定管理者で負担するなど適正に行われており、個人情報についても適正に管理されている。  
情報発信については、SNSを中心に活用して積極的に発信をしている。

#### 効果性、貢献性に対する所見

(利用者ニーズの把握・反映、自主事業の実施状況について総合的に記述。)

利用者との対話や視察の受入を積極的に行い、幅広いニーズに対応できるよう把握に努めている。  
自主事業についても、地元料理を楽しめるばっかり茶家やシルク館で行う繭細工体験など施設の特徴を生かした事業や、恒例となったシルクフラワーフェスタ等のイベントを開催した。

#### 効率性に対する所見

(経費の削減について総合的に記述し、収支状況を添付。)

当該指定管理者は、入谷地区の住民・団体が主な構成員となっている組織であることから地域の理解や協力を得られており、地域住民によるボランティア除草作業の実施や、日常の軽微な作業などは管理者で対応することにより経費の削減を行っている。  
自主事業においても地元食材の自主調達などにより経費削減に努めている。

### 課題や今後の方向性についての意見等

(当該施設での指定管理者制度の課題や改善すべき方向性等について記述。)

町の文化財であり、地域の伝統的な文化を継承する役割を期待されている。体験事業に従事している職員等も高齢化が進んでいることから、後継者育成を行う必要がある。  
町文化財である松笠屋敷をはじめ、その他の施設においても老朽化や自然災害の影響により管理者による修繕に該当しない規模の修繕必要箇所が増えている。  
管理事業や自主事業において事業計画や収支の進捗状況等を把握し、計画的な事業運営を行う必要がある。

### 審査委員会の意見

利用者数の増のため、HP及びSNSのアクセス数、ユーザー数を把握して検証するよう指導すること。  
会計書類の整理等、適正な会計管理に努めるよう指導すること。

## 指定管理者制度導入施設における業務点検評価表

施設名	南三陸町ひころの里	評価対象年度	令和 4 年度業務
指定管理者	ひころの里コンソーシアム	所管する所属	農林水産 課
指定期間	令和 3 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 3 1 日		農林業振興 係
施設の目的	本町の歴史的資源を総合的に管理して、次代に継承するとともに、郷土の文化を創造する機会を提供し、都市住民との交流及び情報の収集並びに観光レクリエーション活動施設の効果的活用の推進を図り、もって町民のゆとりある文化的な生活に寄与するものである。		
業務の内容	(1) ひころの里施設の運営に関すること (2) ひころの里施設、設備及び物品の維持管理に関すること (3) ひころの里施設の設置目的に合った自主事業の実施に関すること		

総合的な評価		評価項目数
<b>総合評価</b>		<b>A優良 : 2</b>
施設内の環境整備に力を入れていることから、施設の美化状況について来場者からも好評であり、利用者数は前年より1,383名の増となった。また地域の中心的な施設として、住民の協力を得ながら効率的に施設管理を行っている。新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により、事業計画に沿った事業の実施に苦慮している。		
<b>評価事項</b>		
地域住民や地域の団体との連携を積極的に図りながら集客イベントを開催している。また、日頃から施設内の環境美化に努めており、来場者からも好評を得ている。		<b>B適正 : 10</b>
<b>改善事項</b>		<b>C改善 : 1</b>
経理及び自主事業におけるイベントの実施等において、事業計画のとおり実施することができなくなった。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大や物価高騰等の影響もあり、指定管理者の責任と言える部分のみではないことから、定期的に事業計画の進捗状況を把握し、状況に応じた協議・対応を行える体制整備を整える。		

1. 施設の管理運営・事業	評価
仕様書及び事業計画に基づいた事業を実施し、前年と比較して利用者数を増加させることができた。 <年間延べ利用者数> ・松笠屋敷/シルク館 1,301人 ・施設利用者(広場等) 3,574人 ・ばっかり茶屋 340人 ・体験 335人 合計 5,550人(前年4,167人) 【目標値: 6,000人(92.5%)】	<b>A優良</b>
2. 利用者の公平確保	評価
貸し出しルールに基づき、適正な手続きが行われている。	<b>B適正</b>
3. 職員の配置、研修等	評価
管理に必要な十分な人数を確保している。植木選定研修・先進地視察等を実施し、技能及び知識向上に取り組んでいる。	<b>B適正</b>

<b>4. 施設の維持管理業務及び保守点検</b>	評価
除草作業等の維持管理作業について、作業記録があり適切に管理されており、また施設内の植木等環境美化に積極的に取り組んでおり、来場者からも好評を得ている。 浄化槽保守点検、消防設備保守点検を専門業者と契約し、適切に実施されている。	A優良
<b>5. 施設の修繕</b>	評価
日頃の点検から修繕必要箇所を認めた場合は迅速に対応している。 施設の開業から28年が経過していることから経年劣化により修繕を必要とする、または検討する施設や機材が多くなっている。	B適正
<b>6. 備品管理</b>	評価
備品台帳は適正に管理されている。	B適正
<b>7. 安全(危機)管理</b>	評価
防災マニュアルや緊急時の連絡体制を整備しており、職員への安全教育も行き届いている。	B適正
<b>8. 個人情報の管理</b>	評価
個人情報取扱特記事項に基づき、適正な管理が行われている。	B適正
<b>9. 利用者ニーズの把握・反映</b>	評価
利用者との直接対話やアンケートの実施により、要望等の意見集約を行っている。 高齢者・障害者等の施設利用の際は、敷地舗装内の車両の運行を許可し、施設への車両横付けサービスを実施するなど対応している。	B適正
<b>10. 自主事業の実施</b>	評価
食堂の営業や、繭細工体験・販売は計画通り実施し、また、地域交流事業として「里山ランチ」にも参画した。恒例となったシルクフラワーフェスタ等も開催し、多くの来場者があった。実施できなかったイベントもあるが、コロナウイルス感染症拡大防止等の理由であり、やむを得ないものである。 <事業実施>別紙のとおり	B適正
<b>11. 経費の節減</b>	評価
入谷地区の住民で構成されているコンソーシアムの特性を生かし、地域住民によるボランティアの除草作業が行われ、自主事業のばかり茶屋では、自ら育てた地元食材を活用することによって経費削減を実施している。	B適正
<b>12. 利用者への情報提供</b>	評価
SNS (Facebook) を中心に、昨年度からリニューアルしたホームページや広報などを活用し、施設やイベントの情報発信を積極的に行っている。	B適正
<b>13. 会計管理</b>	評価
令和4年度の収支は当初の見込みより支出が多く、マイナスとなった。しかし、物価高騰等の影響もあり、やむを得ないものである。	C改善

**利用者の要望とその対応状況**

期日	要望内容	期日	対応状況
R3. 10	石畳が破損しており、歩行者に危険が及ぶので、修理してほしい。	R5. 3	石畳の修繕を行った。
R4. 4	駐車場の案内等をわかるように設置してほしい。	R4. 4	駐車場看板と施設利用の注意書を設置した。
R5. 3	多目的トイレを修繕してほしい。	R5	令和5年度に修繕予定。

**自主事業の実施状況**

**実施状況**

※ 別紙資料添付による対応可

事業計画		実施状況			
通年	ばっかり茶屋	通年	食事の提供	340人	予約制のランチ、お弁当
通年	まゆ細工等体験・販売	通年	まゆ細工等体験・販売	335人	まゆ細工作品等の体験・販売
9月	グラウンドゴルフひこころの里杯	9月14日	グラウンドゴルフ大会	37人	地域愛好家の大会
6月、11月	ひこころマルシェ	10月30日	マルシェ	700人	オーガニックマルシェ
11月	里山ランチもみじ弁当	11月5日～11日	弁当販売	197個	地域協議会合同企画
3月	里山ランチ春告げ弁当	3月4日～10日	弁当販売	189個	地域協議会合同企画
3月	シルクフラワーフェスタ	3月4日～12日	シルクフラワーフェスタ	300人	まゆ細工作品販売、入谷小学校生徒の書初め等展示

**収支状況**

※別紙のとおり

※ 別紙資料添付による対応可

(収入)

単位：円

項目	予算額	決算額	比較増減	内訳
計	0	0	0	

(支出)

単位：円

項目	予算額	決算額	比較増減	内訳
計	0	0	0	